

## 国際大会団長報告

大会名	世界クラシックオープンパワーリフティング選手権大会
開催国名	リトアニア
開催都市名	ドルスキニンカイ
大会期間	6月13日～6月23日
団長名(報告者)	佐々木 陽一
帯同審判名	伊差川 浩之
大会参加国(地域)数	52カ国
大会参加選手数	318名(男子182名、女子136名)

	参加選手名	階級	種別	性別	カテゴリ	SQ記録	SQ順位	BP記録	BP順位	DL記録	DL順位	To記録	To順位
1	滝山 泰貴	59kg	CL	男子	OP	200.0	6	142.5	2	210.0	12	552.5	9
2	佐竹 優典	66kg	CL	男子	OP	250.0	3	165.0	6	270.0	10	685.0	7
3	牛山 恭太	66kg	CL	男子	OP	240.0	7	175.0	2	277.5	7	692.0	5
4	宇都木 悠	74kg	CL	男子	OP	255.0	9	165.0	10	290.0	10	710.0	11
5	中川 哲汰	83kg	CL	男子	OP	270.0	8	162.5	16	310.0	10	742.5	10
6	武田 裕介	93kg	CL	男子	OP	300.0	10	197.5	8	290.0	25	<b>787.5</b>	13
7	中村 鮎人	105kg	CL	男子	OP	<b>322.5</b>	6	202.5	11	285.0	26	810.0	16
8	山川 太希	120kg	CL	男子	OP	305.0	17	192.5	19	295.0	18	792.5	19
9	中川 綾	47kg	CL	女子	OP	65.0	11	47.5	10	95.0	11	207.5	11
10	佐藤 葉	52kg	CL	女子	OP	140.0	13	90.0	7	140.0	18	360.0	15
11	河西 香南	57kg	CL	女子	OP	132.5	20	85.0	11	152.5	19	370.0	17
12	神保 麗南	69kg	CL	女子	OP	170.0	12	72.5	22	140.0	24	382.5	20

NR  
NR

メダル獲得数集計シート  
(自動計算されます)  
(数字は半角英数字を使用し、数式破損に注意)

SQ金メダル	0	BP金メダル	0	DL金メダル	0	To金メダル	0
SQ銀メダル	0	BP銀メダル	2	DL銀メダル	0	To銀メダル	0
SQ銅メダル	1	BP銅メダル	0	DL銅メダル	0	To銅メダル	0
SQメダル計	1	BPメダル計	2	DLメダル計	0	Toメダル計	0
大会獲得メダル合計							
3							

### 【大会の様子】

直前まで協会からの返答がなくホテルが決まらなかったが、メインホテルのアパートタイプの部屋に宿泊することになり結果的に非常に良かった。

### 【ホテル】

部屋も広く2部屋ありキッチンも付いていたため自炊も可能。

またホテルに併設されているスパが非常に大きく、各種サウナもありケアにもコンディショニングにも使え良い環境のホテルであった。

### 【試合会場】

ホテルから会場までのピストンバスで10分程度、徒歩では30分程度の距離。

バスの本数は多くないため各自Boltなどの配車アプリを使用。

全体的に導線など使いやすいが、アップ場にモニターが無いため試合の進行具合は見に行く必要がある。

(前回2023年11月のフルギア世界大会でも同じだったとのことなので次回同じ会場の場合は注意が必要)

ウォームアップエリアの入口にウォーターサーバーが設置されていたので給水可能。無くともすぐに補充された。

会場が地下1階のため電波が悪くスマートフォンでの連絡が取りづらかった。

外にキッチンカーが1台来ていたのでランチなどはそこでとることができたが、

それ以外の売店などはなく簡単な食べもの飲み物の自販機のみ。

エレコ社の最新ラックを使用。1つ前の物よりもベンチ台が柔らかいため

ベンチプレス試技の際には注意が必要。

(今後の世界大会はこの最新型を使用すること。)

試合会場の1階がトレーニング施設になっているので現地での調整も行い安かった。

### 【その他】

IPF総会でも特段の大きな問題もなく無事閉幕された。

帰りの空港までの送迎時間が突然変更(早まった)、

バスの運転手の方が待ってくれたので無事全員乗車できた。

(原因としてはバスの時間の案内がグーグルドライブを使用していたため

誰でも編集ができるため誤って操作したのではないかと思われる)

花粉(主にスギ)があり、花粉症対策が必要。

今回は助成金のおかげで日本選手団として団長、審判、選手とそれぞれが

役割を分けることができた。また、審判を派遣出来たことによりIPFからも

特段のお叱りや指摘はなく済み、IPFメンバーとして大会運営への協力も

できたと感じます。

